

# 感染状況・医療提供体制の分析(8月24日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細  
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (8月17日時点)	現在の数値 (8月24日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	20994人 (1118.5人)	26372人 (1405.1人)	→	<b>感染状況コメント</b> レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要  新規陽性者は人口10万人当たり1405人と再増加。20代での増加が大きくなっている。陽性者の急増から遅れて、重症者・死亡者も増加している。
		60歳以上 (総数に占める割合)	3529人 (17%)	4327人 (16%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	10533人	12948人	→	これまでで最も高い感染レベル。お盆や夏休み関連の社会活動を通し、感染が再拡大。今後も、高いレベルでの感染継続が予想される。学校が再開されるため、その影響を注視する必要がある。個人で行える感染対策の再強化を。 「岡山県の医療を守るために、県民のみなさんをお願いしたいこと」 <a href="https://bit.ly/3zH60EA">https://bit.ly/3zH60EA</a>
		県南西部	7738人	10122人	→	
		高梁・新見	310人	548人	→	
		真庭	439人	406人	→	
	津山・英田	1959人	2334人	→		
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	366人 (63%)	378人 (63%)	→	<b>医療提供体制コメント</b> レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる  高齢者の感染者増加により、確保病床における入院割合は60%を超える。発熱外来や救急医療は逼迫。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、医療機関のキャパは大きく低下。結果的に、救急搬送困難、手術制限など通常医療提供が困難になっている。また、施設内療養者も多く存在している。	
	④宿泊療養者数	129人	178人	→		
	⑤自宅療養者数	21859人	27690人	→		
	⑥重症者数	15人	16人	→		

